

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3465)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,940 千円 (前年度予算額： 21,930 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,930	0	0	0	0	0	21,930	0	0
要求額	20,940	0	0	0	0	0	20,940	0	0
決定額	20,940	0	0	0	0	0	20,940	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

経済連携協定(EPA)に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援するため、候補者を受け入れた施設が実施する日本語学習や介護技術学習に必要な経費を補助する。

(2) 事業内容

補助金 20,940千円

受入施設が実施する候補者の日本語学習、介護分野の専門知識の学習、学習環境の整備及び受入施設の研修担当者の活動に係る費用の一部を助成。

@ 150,000円 /人 × 候補者数 125人 = 18,750千円

@ 75,000円 /人 × 候補者数 10人 = 750千円

@ 60,000円 /施設 × 受入施設 24施設 = 1,440千円

(3) 県負担・補助率の考え方

国2/3、県1/3（地域医療介護総合確保基金）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	20,940	EPAに基づき入国する外国人介護福祉士候補者に対し、受入施設が実施する学習支援等に係る経費に対する助成
合計	20,940	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」 第4章第2節2-1 介護人材の確保

(2) 国・他県の状況

令和8年度も経済連携協定（EPA）に基づき、外国人介護福祉士候補者の受け入れを行う。

(3) 後年度の財政負担

引き続き、経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 経済連携協定（EPA）に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H21)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①外国人介護福祉士候補者補助人数	0	125	125	130	130	96.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	110名の外国人介護福祉士候補者の受入れ施設が実施する日本語学習支援に係る費用に対し補助を行った（22施設）。
	指標① 目標：110人 実績：110人 達成率：100.0 %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。 114名の外国人介護福祉士候補者の受入れ施設が実施する日本語学習支援に係る費用に対し補助を行った（21施設）。
	指標① 目標：115人 実績：114人 達成率：99.1 %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。 125名の外国人介護福祉士候補者の受入れ施設が実施する日本語学習支援に係る費用に対し補助を行った（20施設）。
	指標① 目標：120人 実績：125人 達成率：104.2 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>経済連携協定 (E P A) に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の円滑な就労・研修を支援するためのものであり、必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>受入れ人数は増加傾向にあり、支援の成果が出ている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>年間実績報告書の受領、審査後の助成としており、事業の効率化は図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 外国介護人材の受入れを推進するため、更なる取り組みが必要。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国において、引き続き経済連携協定 (E P A) に基づき入国する外国人介護福祉士候補者の受け入れを行うこととされており、支援を継続する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	